

令和5年度
九州地方環境パートナーシップオフィス
九州地方ESD活動支援センター
運営業務計画



一般社団法人九州環境地域づくり

- 第6期中期目標
- 令和5年度業務一覧
- 個別業務計画
- 年間スケジュール
- スタッフ体制

第6期中期目標（令和5年度～7年度）

- ・地域脱炭素実現の加速・地域循環共生圏（ローカルSDGs）推進による持続可能な地域づくり（協働型地域課題解決）への貢献と担い手となる人材育成

基本業務

地域脱炭素を活用したローカルSDGs推進に取り組む実践主体の増加とネットワーク化

SDGs達成・地域脱炭素に取り組む実践主体の裾野を広げるため、SDGs関心層や活用ニーズにあわせて地域脱炭素についての普及・啓発をコンシェルジュ機能（発信・相談対応・助言・場づくり）として実施する。

地域循環共生圏業務

地域からのグリーン社会を見据えた地域課題解決に資する協働モデル事例の創出

地域循環共生圏に向け多様なステークホルダーが連携して地域課題解決に取り組む地域プラットフォームの動きを加速・深化させる環境整備支援、実践主体のネットワーク形成支援等を実施する。

九州ESDセンター運営業務

地域課題解決に資する地域ぐるみのESD活動（地域を好きになる人材の育成）の推進と波及

地域ぐるみのESD活動として、地域を好きになるESD推進ならびに2030学び合いプロジェクトによるモデル創出の環境整備支援を行うとともに、九州・沖縄地域への波及・横展開に向けたネットワーク型の発信を行う。

EPO九州・ESDセンターの統合的な運営

地域脱炭素・ローカルSDGs推進による 持続可能な地域づくりへの貢献と人材育成

地域脱炭素の加速
地域循環共生圏の推進

地域循環共生圏業務

ESDモデル形成
学びあいの促進

ESDセンター業務

外部プロジェクトの推進
コンシェルジュ事案の発展

外部資金業務

EPO九州・ESDセンター基本業務 (SDGs・ESDコンシェルジュ)

- ・SDGs・ESDコンシェルジュ機能に基づく、発信・相談・対話の促進。

運営委員会（R5より設置要綱を改定しEPO・ESD委員会を統合、委員9名）

運営体制：スタッフ6名

九州地方環境事務所

運営団体

令和5年度 EPO九州業務一覧

I 基本業務

業務項目	主な取組
①SDGs・ESDコンシェルジュ 基本業務仕様書 ②⑥ センター仕様書 ②④	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGs・ESD活動に関する課題、支援ニーズ、地域性を把握 ・基礎的な情報提供に加え、各主体に応じた活用、対話の場の提案 ・相談者の取り組みをふまえ、行動変容を促す企画提案 ・相談案件の蓄積と内容分析によるコンシェルジュ機能の強化
②複合的な情報の収集・発信 (コレクティブ・インフォメーション) 基本業務仕様書 ①③④⑤ センター仕様書 ①③	<p>九州・沖縄地域に関連する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各主体における環境を保全しながら地域課題解決に取り組む事例の情報 ・各主体が環境を保全しながら地域課題解決に取り組む上で、役に立つ取組や支援ツール等に関する情報(公募・助成金に関する情報を含む)。 ・SDGsに関するものを含む環境保全に関するイベントの開催情報 ・行政機関の環境施策等、その他環境保全活動及び環境教育の促進に資する情報 <p>企画：島しょ地域活動団体情報交換会(オンライン)開催による、情報基盤強化</p>
③EPOネットワークの活用 基本業務仕様書 ⑦⑧ センター仕様書 ⑨	<p>GEOC、地方EPOと連携したバリューの創出</p> <p>全国EPO連絡会地方開催を九州・沖縄ブロックにて開催を担い、全国との連携を強化する。</p> <p>開催予定地 沖縄県内</p>

2 地域循環共生圏の創造に資するための推進業務

業務項目	主な取組
①地域プラットフォームの環境整備支援等業務 共生圏仕様書 ①②③④⑤⑥	<ul style="list-style-type: none"> ・九州地方における地域循環共生圏の創造(構築・推進)に向け、プラットフォーム活動団体(PF活動団体)と連携し、モデル活動を展開。 ・中間共有会開催によるブロック・プラットフォームの形成 ・卒業団体ヒアリング、フォローアップ。事業化支援団体の活動情報の把握
②自然資本活用に関する意見交換会 共生圏仕様書 ⑦	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然資本を活用した地域づくりに関する意見交換会を開催 ・自然資本を基盤とする地域づくりに関するパートナーシップの促進を図る ・2地域で実施
③地域グリーン社会実現に向けたSH連携促進 共生圏仕様書 ⑧	<ul style="list-style-type: none"> ・九州地方環境事務所と共同で環境展示会でのブース出展し、地域循環共生圏の取り組みをはじめ、地域脱炭素、自然共生等の環境政策を発信、アピール。 ・企業が取り組む脱炭素経営、資源循環事業等についてのセミナーを開催 ・地域脱炭素に取り組む自治体と事業者とのマッチング企画の開催支援(実施主体は九州地方環境事務所・経済団体)

3 九州ESDセンター運営業務

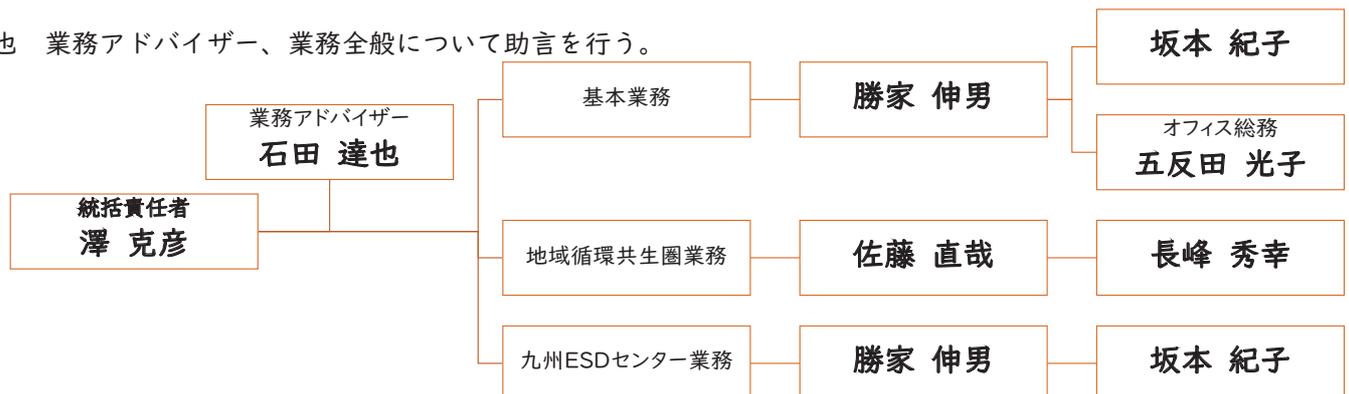
業務項目	主な取組
①地域を好きになるESD推進プロジェクト (地域ぐるみのESD活動モデル事例形成支援) センター仕様書⑤⑥⑦	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ESD拠点を対象とした活動形成アンケート・ヒアリングによるパートナー団体の選定(3団体) ・パートナー団体によるESD推進コンセプトペーパーの策定(ロードマップ、ビジョン、ステークホルダーの整理) ・ステークホルダーミーティングの開催支援 ・地域学び合いフォーラムによる取り組み発信と横展開
②2030学びあいプロジェクト センター仕様書⑧	<ul style="list-style-type: none"> ・九州本島内の4環境学習施設のネットワーク形成 ・各施設での気候変動教育等の取り組みヒアリング ・4館連携情報交換会の開催 ・地域ぐるみでの気候変動教育推進に向けた情報交換会の開催

2023 EPO九州・九州ESDセンター運営スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
基本業務		就任依頼 日程調整	委員会 6/28						日程調整	委員会		
コンサル活動	メルマガ	ウェブ発信基盤改修計画			島しょ情報交換	改修の実施とデモ運用					ニュースレター 編集・発行	
共生圏PF	PF団体 ヒアリング	共有会	キックオフ 情報交換会	作業部会	ステークホルダーミーティング開催支援（PF団体ごとに開催）				企画検討 日程調整	中間共有会	PF団体別 事前打合せ	成果共有会
地域循環共生圏業務			情報収集	企画検討	意見交換 企業連携	意見交換 島しょ地域						
グリーン社会づくり意見交換	企画検討・開催準備・出展物作成	エコテクノ ブース出展	グリーン社会 セミナー開催	企画検討・関係者調整	自治体・企業マッチング企画実施 2地域で展開							
九州ESDセンター業務	プロジェクト アンケート	パートナー団体 ヒアリング・選定	コンセプトペーパー 支援計画案作成	地域ESDコンセプトペーパーに 基づくステークホルダー調整	ステークホルダーミーティング開催				ESD有識者 との連携	企画検討	地域ESD フォーラム開催	
2030学びあいプロジェクト		企画調整	学びあいVol.1 パートナー団体へのヒアリング	作業部会	学びあいVol.2 施設間情報交換				全国フォーラムにて報告		学びあいVol.3 気候変動教育 ダイアログ	

スタッフ体制

- 澤 克彦 運営業務全般について統括的に管理し、業務方針・計画等を定め適切に執行する。
- 勝家 伸男 基本業務ならびに九州ESDセンター業務を主担当する。またウェブ管理を担当する。
- 佐藤 直哉 地域循環共生圏業務全般について主担当する。情報発信業務を担当する。
- 長峰 秀幸 地域循環共生圏業務を担当する。
- 坂本 紀子 基本業務ならびに九州ESDセンター業務を担当する。
- 五反田光子 オフィス管理に従事する。
- 石田 達也 業務アドバイザー、業務全般について助言を行う。



基本業務

基本業務について

業務目標

地域脱炭素を活用したローカルSDGs推進に取り組む実践主体の増加とネットワーク化

- SDGs達成・地域脱炭素に取り組む実践主体の裾野を広げるため、SDGs関心層や活用ニーズにあわせて地域脱炭素についての普及・啓発をコンシェルジュ機能（発信・相談対応・助言・場づくり）として実施する。

コンシェルジュ (Concierge) : 顧客の要望に応え、サービス・情報を提供・提案する人材・組織

業務概要

SDGs/ESDコンシェルジュ機能を基に、情報収集・整理、課題・支援ニーズの把握、個別相談対応を一連のサイクルとして行う。特に地域脱炭素実現に資する情報基盤形成を行い、相談対応においても地域脱炭素に関する取組等の把握を行い、モデル的な活動支援をとおして実践主体の裾野を広げる。

なお、情報収集や案件把握においては長崎、鹿児島、沖縄各県の島しょ地域の事例や地域主体を重視し、沖縄奄美自然環境事務所担当官と連携し、島しょエリアごとのキーパーソンや関係団体、地域ESD拠点と連携した企画実施等を強化する。

また、基本業務は九州ESDセンター業務（仕様書①～④）と重複的な役割を担うことから、SDGs・ESDの区分を設けず相談者のニーズにワンストップでの対応を行い、相談主体や実践主体の活動支援を効果的に行う。

主な取組 ウェブ発信基盤の再構築、SDGs・ESDコンシェルジュ機能の積極的運用
効果的な情報収集と各種発信媒体による重層的な発信

企画取組 島しょ地域の特性・課題に関する情報収集
島しょ地域において先進的な取り組みを進める自治体（SDGs未来都市、脱炭素先行地域）や、活動団体（地域循環共生圏活動団体、地域ESD拠点）、ビジターセンター等との情報交換の機会を設け、島しょ地域情報交流会（オンライン）を開催し情報連携や活動把握を行う。
企画にあたっては、九州地方環境事務所・沖縄奄美環境事務所担当官と協議し照会先等の連携について調整を行う。

成果指標 相談案件数（内、地域脱炭素に関する案件の把握）

基本業務

全国EPOネットワークと連携した展開

業務概要



8EPO + GEOCのネットワーク

地方環境パートナーシップオフィス（EPO）は、北海道から九州・沖縄まで8つのブロックに設置され、地球環境パートナーシッププラザ（GEOC、国連大学1F）とともにEPOネットワークを構成しています。

EPOネットワークでは、環境教育等促進法をはじめ、環境基本計画等の環境政策に基づき展開される全国事業（地域循環共生圏、ESDセンター運営）や地球環境基金をはじめとする連携団体・機関と協働してのプロジェクトに取り組んでいます。

コレクティブインパクトの創出に向けて、EPOネットワーク間では日頃から情報交換を行い、全国EPO連絡会で関係するステークホルダーとの対話を促進させ、事業の方向性や連携共有を行うなど、地方と全国をつなぐプラットフォームの役割を担っています。

※各地方のESDセンターは各EPO内に設置されています。

全国EPO連絡会：EPO事業推進に関する連絡調整会議。年3回開催され、内1回は地方ブロック開催（昨年度は熊本、今年度は北海道）。環境省事業としての方向性や、地方ごとのプロジェクト展開を共有し、EPO事業全体をとおしての成果づくりについて意見交換を行う。